

# もみじ

—広島県山岳・スポーツライミング連盟会報—



一般社団法人 広島県山岳・スポーツライミング連盟

〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail: [hgakuren@lime.ocn.ne.jp](mailto:hgakuren@lime.ocn.ne.jp)

URL: <http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01380-6-37958

題字デザイン 今村みずほ

編集 西部伸也

本号内容

(ロゲイニングの地図とチェックシート)

1. 県高体連新人大会 (2/10~11 もみのき森林公園) 報告
2. 山岳レスキュー(積雪期)研修会 (2/17~18 三瓶山北の原) 報告
3. 臨時総会 (2/21 西区民文化センター) 報告
4. 岳連短信 (寄贈御礼、3~5月の行事予定、来年度県民ハイキング年間予定・参加申込書)

## 1. 県高体連新人大会報告

(県高体連登山部事務局 内藤 弘泰)

令和 5 年度広島県高等学校新人登山大会 (2/10~2/11 もみのき森林公園) の報告です。

大会と銘打っていますが、広島県の高校登山部員が集まって雪上での歩行や生活技術を学ぶ研修会です。ピッケルやザイルを使うようなハイレベルなものではなく、もみのき森林公園のクロスカントリースキーのコースをワカンで歩いて雪上歩行を体験する行事です。

今年は約 40 名の高校生の参加がありましたが、あいにくの暖冬で雪がありませんでした。1 日目は、もみのき森林公園内でロゲイニングを行い、地図を読む訓練をすることになりました。道のないところに踏み込んでポストを探したり、制限時間を気にしながらルートを考えたりするのは、普段の登山競技とは違った興奮が味わえました。ご準備くださった、美藤先生と清水先生にたいへん感謝申し上げます。

夜は体育館での就寝でしたが、寝袋に入っても寒くて眠れないという、普段できない思いをした生徒もいたようです。



2 日目は小室井山への登山を行いました。未明に少し雪が降ったため、数 cm の積雪の上をワカンなしで歩きました。雪上歩行の訓練とまでは行きませんが、きれいな雪景色の中の登山を経験することができました。

以下に参加した廿日市高校の生徒の感想文を紹介します。

### 【廿日市高校登山部員感想文】

(Y.F)

雪の深いところを歩いたり滑ったりして、雪山ならではの体験ができてとても楽しかったです。また防寒対策や雪山での装備、服装を学べて、いい経験になりました。またもっと積雪の多い山に登ってみたいです。

(S.S)

今年は雪が少なく予定していたワカンでの歩行訓練や設営練習がレクに変わったり、夜、体育館が寒すぎて寝られなかったりと、いろんなことがありましたが、雪山ならではの貴重な体験ができてよかったです。

(H. C)

雪山登山では行動中の服装が大変でした。雪山なので濡れにくいカッパやスパッツなどをつけなければいけません、カッパを着ると体温がこもってしまい歩いているときは暑く感じるがありました。また登山靴に関しても雪の上を歩いて、濡れることが分かったので防水の大切さを身に染みて感じることができました。来年はこの経験を生かして、雪上での設営やワカンでの歩行に挑戦してみたいです。



小室井山山頂にて

## 2. 山岳レスキュー(積雪期)研修会報告

(指導部長 森本 寛)

日時：2月17日(土)～18日(日)

参加者：受講者14名 スタッフ7名 合計21名

場所：島根県大田市 三瓶山北の原

今年は暖冬で予想以上に雪がなく積雪期と無雪期のハイブリッドな研修会となりました。1日目は2班に分かれビーコン捜索とツェルト張の講習をおこない、宿泊用のケビンにて雪質観察の机上講習とシート梱包の練習をしました。2日目は梱包・搬送訓練を行いました。登り、下り、トラバースの状態をそれぞれロープで確保しながら搬送しました。人を運ぶ大変さを体験する事でより一層、安全登山への意識が高まってくれば良いと思います。(森本)

【感想文】 大下 真弓・田淵 泰崇

(受講生 大下 真弓)

2月17日(土)～18日(日)で島根県の三瓶山で行われた山岳レスキュー(積雪期)研修会に参加しました。

初心者コースの「クラス1」で申込しところ、参加希望者が少なく「クラス2」と合同で実施したい旨の連絡がありましたが、知らない事を学べるチャンスであることや山のエキスパートの方々の話が聞けることを考えるとわくわくしてきたため、参加を決めました。

山の先輩から「クラス2」に参加するのであれば当日までにクローブヒッチやシートベント等のロープワークを練習しておくようアドバイスされました。

当日は三瓶山に雪はなく、青空の下、樹林帯で積雪期のイメージで研修を受講しましたが、雪崩に巻き込まれた人の捜索に欠かせない雪崩ビーコン・プローブの操作、立ち木とロープを利用した1人でのツェルト張り、要救助者の梱包や搬送、要救助者を現場から登山道までロープで引き上げるための3分の1システムなど、初めて尽くしの経験でした。

道具の正しい使い方や場面ごとに色々な使い方があることを学ぶとともに、座学では雪崩体験や悲しい事故の話聞き、改めて「山に対して謙虚に」と思いました。

今まで知らなかった用語やロープワークでは頭が

パンク寸前になりましたが、ケビン泊での懇親会や移動中の山好きの話が楽しかったです。

貴重な体験が出来て参加して良かったです。丁寧な説明、ご指導、ありがとうございました。

(受講生 田淵 泰崇)

昨年初めて冬山技術研修会の初級コースに参加させていただき、今年はステップアップしたいと思い、山岳（積雪期）レスキュー研修会にチャレンジしました。

暖冬で積雪がなく限られた条件のため、研修内容も変更せざるを得なく指導者の方も頭を悩まされておられるようでした。そのような二日間を通して、ビーコン、プローブの使用・搜索方法、ツェルトを活用したビバーク、雪質観察、要救助者の梱包・搬送要領、3倍力システムの構築、ビレイ確保、フィックス線など研修していただきました。

この二日間の研修を受けて、特に印象に残ったことが3つあります。

まず1つ目は、ビーコンの使用・搜索方法です。私自身、バックカントリースキーに挑戦したく今回の研修も相まって少し高価ではありますが、思い切ってビーコンを購入しました。

昨年参加した冬山技術研修では、実際に雪の中に埋められて雪崩の疑似体験をしました。雪に埋まると暗く冷たく、体は動かせず、ただただ時間が過ぎていくのみでした。その際に感じたことは、死に対する恐怖や不安です。溺水による窒息だと、死に至るまで又は意識を失うまでさほど時間は要さず、幸か不幸か、他のことを考える余地もありません。ただ雪崩の場合、生存のタイムリミットが欧米の乾いた雪で15分くらい、日本の湿った雪では11分くらいと習いました。短いながらも時間があり、身動きがとれない中で、差し迫る死の恐怖におびえ人生を回顧することになるのか、そもそも回顧する余裕なんてあるのか？極限の精神状態で、落ち着き希望を持てるかどうかは、ビーコンを装備しているかどうか大きく左右されると感じました。単独登山では、あまり意味が無いのかも知れませんが、チームでの山行なら仲間が助けてくれ

ると希望を持つことができます。しかし、それはビーコンを適切かつ効果的に使用できないと意味がありません。今回の研修を通し、改めて、取扱説明書を熟読することの重要性と実際に使用し訓練することの（大切さを感じました。また、持っていれば助かる、助けてもらえると安易な考えではいけない、自分が助けないといけない立場になり得ることも考えさせられました。登る山にもよるとは思いますが、一人一人がビーコンを装備し責任を果たさないといけないと感じました。しかしながら、雪崩の遭遇率とビーコンの価格を天秤にかけると、購入を躊躇し後回しにしてしまいがちです。もう少し手の届きやすい価格帯にならないものかと感じました。

2つ目は、要救助者の梱包・搬送要領と3倍力システムによる引揚げです。要救助者の梱包と搬送については、技術的なこともあります。何より要救助者の方への愛護的な対応をとる大切さを学びました。要救助者の方は、周りに迷惑をかけるのではないかと、危険なところを下山していかなければならないかという不安に駆られ、寒さや怪我もあればより一層のことです。梱包や搬送をするにあたって、作業に集中したり、足場の悪いところを歩くことに注意したりと、自分のことで精一杯になりがちですが、そこで要救助者の方に声を掛ける余裕を持っていきたいと感じました。

また、要救助者を梱包する際、スリング等での結索が伴いました。普段多用する結索や得意な手向きでなければ、丁寧に速くすることができませんでした。実際に山で差し迫った状況だと尚更上手くないのもです。自分の訓練不足を反省するとともに、応用が効くように引き出しを増やし、反復していきたいと感じました。

倍力システム構築については、カム付きプーリーのマイクロトラクションや、多目的アッセンダーのタイブロックといったギアを使用しました。少ない力を大きな力に変えてくれる倍力システムですが、ギアの使い方を誤ると重大な事故につながる危険性もあります。救助活動を効果的かつ安全に行うにはギアの特性を理解し、ロープの流れを考慮して、常に整理しながら活動する必要性を感じました。

3つ目は、懇親会です。30代の参加者は私一人で、人生の大先輩に囲まれての懇親会でした。「あまり気を使いなさんな」「足を崩しんさい」と逆に気を遣っていただき、リラックスして美味しいごはんや、お酒をいただきました。そしてたくさんのアドバイスもいただきました。「何を始めるにも遅いことはないよ」と皆さんのチャレンジ精神に刺激を受け、今まで自分で勝手に諦めていたこと、限界を決めていたことに気付かされました。また、山だけに没頭せず、家族への感謝の気持ちを表現する大切さも教えていただきました。私自身、今回の研修に参加するにあたり、1歳の息子の子守を妻にお願いしてきました。改めて家族に感謝し、ゆくゆくは子どもを連れて色んな山やアクティビティに挑戦していきたいと思います。

今回の山岳レスキュー研修に参加して、習得させていただいた知識技術を反復して、しっかりと自分のものにしていきたいと思います。まずは自分が山岳事故を起こさない、そして起きた時又は遭遇したときには、冷静に対処、活動していきたいと思います。

また今回、ご指導してくださった岳連のスタッフのみなさん、一緒に研修を受けた皆さん二日間ありがとうございました。

(写真提供 森本 覚)



(上) ビーコン捜索

(右1枚目) プロロービング

(右2枚目) ツェルト張

(右3~4枚目) シート梱包

(次頁1~5枚目) 搬送訓練



### 3. 臨時総会報告

(事務局 西部 伸也)

2月21日(水)19時から広島市西区民文化センターにおいて臨時総会が開催され、JMSAC(日本山岳・スポーツクライミング協会)の赤字問題解決のための基金への広島県岳連からの300万円拠出についての協議が行われました。

出席者は、執行部・各理事・名誉役員・各会代表・個人会員の22名でしたが、総議決権個数235のうち出席分+委任状で186(79%)となって過半数を大きく超え、総会は成立しました。

1時間半にわたる協議ののち、採決が行われ、委任状を除いた議決権個数119のうち、賛成98・反対1・棄権20という結果で、300万円拠出の原案は承認されました。

4. 岳連短信

1. 寄贈御礼

- 2/13 広島三峰会年報『やぶこぎ46号』
2/21 三原山の会『筆影』No. 528 (3月号)
2/22 福山山岳会『会報』3月号
(2/27) 広島山稜会『峠通信』776 (2月号)
3/11 『中信高校山岳部かわらばん』737

2. 3~5月の行事予定

- 3/30(土) HIROSHIMAベルコンプ 2023第5戦 (ピュアグリーン)
4/7(日) 県民ハイキング(62) (日浦山)
4/13(土)~14(日) 国スポ県予選 (CERO)
4/21(日) 自然保護指導員研修会(登山道整備) (県民の森)
5/11(土) 2024(令和6)年度定時総会

3. 来年度県民ハイキング年間予定・参加申込書

FAX 082-296-5597
2024年度 参加申込書
第 回 月 日(日) 実施分
名 前 (フリガナ/漢字) 性別 住 所 電話番号(携帯) 緊急連絡先電話番号
S・H 年 月 日 オ (加題団体名: )
S・H 年 月 日 オ (加題団体名: )
S・H 年 月 日 オ (加題団体名: )
S・H 年 月 日 オ (加題団体名: )
● 差別行動となります。同じ班のご希望などあれば、お知らせください。(加題団体の場合は団体名を住所欄に記入願います)
◆ 当日、発熱など体調不良の方は、参加をご遠慮ください。マスクの着用は、参加者各自の判断とします。

募集概要
(1) 対象は小学生以上。実施日、集合場所、集合時間は表のとおり(集合時間になったら出発します)
(2) 参加費(送迎送料を含む):おとな1,000円 小中高生500円(交通費別)
(3) 持ち物:服装、飲料水(1リットル以上・アルコールはご遠慮ください)、雨具、懐中電灯、防寒防風衣、帽子、手袋、タオル、タオルケット、寝袋、寝具、保険証、お財布(現金・クレジットカード)
(4) 服装:長袖シャツ、長ズボン、歩きやすい靴(登山靴をお勧めします)
(5) 申込方法:実施日の6日前までに、はがき、FAX、メールのいずれかで。
①氏名、②生年月日、③性別、④住所、⑤携帯電話番号、⑥家族などの緊急時連絡先を 広島県山岳・スポーツクライミング連盟へ連絡してください。
(6) 参加中止 キャンセルは 必ずご連絡ください。
(7) 雨の場合:前日昼(11時以降)の気象庁の天気予報で、当日8~12時・19~18時の降水確率が80%以上の場合は、自動的に中止(深天山以外は広島市部、深天山は広島市部を除く)。雨、中止の場合は、前日19:00までに 広島県山岳・S/C連盟、のりIP、最新ニュースにも記載します。⑧ 当日集合時に気象急変等で主催者が実施困難と判断した場合は、登山中止の場合も有り。
(8) その他:万一の事故について、可能な応急処置以上の責任は負いません。
集合写真やホームページなどの資料に利用します。
《問合せ・申込み先》
一般社団法人 広島県山岳・スポーツクライミング連盟事務局
【県民ハイキング】係 〒733-0011 広島市西区堀川2丁目4-17
電話・FAX (082)296-5597 (月・水・金 12:00~17:00)
メール hgakuren@lime.ocn.ne.jp



広島県山岳・スポーツクライミング連盟は、広く県民のみなさまに自然に親しんでいただくとともに、登山の楽しみ方、登山のマナー、安全登山の啓発のため、県民ハイキングを開催しています。みなさまの ご参加をお待ちしております。

Table with 5 columns: No., 実施日, 山名・紹介, 集合場所・時刻, 担当団体. Rows include 日浦山 345m, 龍王山 575m, 深天山 1153m, 宗箇山 356m, 馬登山, 行者山 818m~栢岩 356m.

広島市・府中町の「高齢者いきいき活動ポイント」の対象事業です。

主 催 一般社団法人 広島県山岳・スポーツクライミング連盟



上のチラシは連盟ホームページからA4サイズでダウンロードできます。

編集部より

- この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など気軽にお寄せください。寄稿の場合は所属、役職を記入下さい。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。
○会員団体で会報発行されたら岳連事務局まで恵送下さい。随時紹介します。
○この会報はメール配信しています。配信ご希望の方は岳連事務局までメールアドレスをお知らせ下さい。